

平成23(2011)年12月3日114第号

# 学校だより

## ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

### 年の瀬・・学習内容の徹底理解を

早くも年の瀬を迎えることになりました。12月の授業日は、今日3日と10日、そして17日の3日間となります。光陰矢の如し、正に月日の経つ早さを実感しています。

今年度から完全実施となった学習指導要領では、算数・数学、理科関係の授業時間数が増加しています。授業時間数が増加しているということは、学習内容が増加しているということになります。しかし、補習校においてはこれ以上の授業時間を拡大するゆとりがありません。

補習校での教科学習の中心は国語ですから、国語の時間数を減らすことはできない。社会も日本全体の学習内容ですから、これも大切。そして、前記の通り、算数数学の学習内容の増加は、国家的命題とも言える方針となれば、さて、「如何にせん。」となります。

#### 〈算数の時間が足りない。と苦悩する現状〉

小学部の各先生からは、算数の学習進度シラバスに照合すると、算数の進度が遅滞傾向にあると報告があがってきています。授業では教科書を中心に学習することが大前提で、それも、基礎基本の学習をキチンとマスターする事にしており、発展的な学習課題までを授業時間内で消化することは、かなりの困難を来しています。そうしますと、この発展的な課題等やドリル的な学習内容は、「第2の学校」と言われる家庭でしっかりしていただくことが肝要になります。

#### 〈宿題・復習は着実・確実に行う〉

かねてより申し上げていますが、補習校で出される宿題は、児童生徒に対して課題づけられるものでありますが、その点検や既習事項の定着(復習)は各家庭において、着実・確実に実施していただきたいと思えます。つまり、保護者の学習支援が極めて大切であるという事です。ここで、手を抜くと学習内容の定着が図られず、授業での順調な学習展開が難しくなります。

先生方の授業における指導力の向上を図るべく授業研究を継続的に実践し、どの先生も工夫を重ね、大変な努力をしています。しかし、学校での指導の限界があります。是非、家庭学習を充実してください。切にお願い申し上げます。本校の児童生徒の8割は、帰国を前提としています。帰国後の軟着陸のためにも。

### 幼稚園児の親子遠足

11月19日(土)、恒例となりました親子遠足がベアー・クリーク・パークを会場にして開催されました。午前9時半、現地集合で、午後、現地解散という形態でした。曇天でしたが、解散するまで降雨もなく親子で楽しい一時を過ごすことが出来ました。

集合時刻には殆ど園児達が集まりました。最初に私(中島校長)が挨拶をし、次いで山田先生から日程や注意事項についての説明がありました。

そのあと、星組、宙組に別れ園児と保護者の集合写真撮影を行い、公園内の見学に入りました。

昼過ぎから空模様が怪しくなってきましたが、解散するまで雨も降ることなく、また、けが人もなく楽しい1日となりました。



星組の子どもたちと保護者



宙組の子どもたちと保護者

保護者の皆様も楽しい1日になったことだと思えます。お疲れ様でした。

## 今、教室では・・・美術館見学記

ヒューストン美術館の仕事・修復

中1 A 谷本慎司（土本学級）

11月12日土曜日、ヒューストン美術館に行き、コンサヴァターという職業について教えてもらい、修復の様子を見せてもらった。

まず、小関先生が、ヒューストン美術館のスタッフの仕事のスクリーンにうつし、どんなことをするのかを説明してくれた。小関先生の所属する保存修復部の写真保存の方法については、くわしく教えてくれた。その仕事とは、

1、作品の技法と状態の調査 2、写真技法に適した保存方法 3、痛んだ写真の修理 4、美術館の理解

5、劣化のメカニズムの調査・研究。それと、美術館にはまもらなければいけないこともあった。例えば、「走らない、ふれない、よりかからない」、などだった。修復ラボは、明るかった。小関先生が、「最高の人工灯を使っているから、一番太陽の光に近いのだ。」と説明してくれた。「しかし、一番いいのはやはり太陽の光なので、こうして光を入れます。」と、小関先生は、上の窓を開けて見せてくれた。のりの説明は、よく分からなかったけど、すごくお金をかけてすごく時間をかけるものなのだということが分かった。ふつうののりとは全然ちがうのりだった。はけには、馬・鹿・熊の毛を使った何十万円もするものを使っていた。小関先生は、「道具を最高級の物にすれば、失敗したとき物にあたれないから最高級にしている。」と言っていた。それで、なるほどと思った。破れている写真の修理方法も見せてくれた。すごく時間がかかると思った。また会議室に戻って、昔の写真を見た。顕微鏡や虫眼鏡で見たので、すごくよく見えた。美術館がこういう沢山のことで成り立っているのが分かり、いい経験になった。

### 本の素晴らしい技術

中1 B 木下颯乃（佐藤学級）

私が見学をして一番驚いたことは、写真修復の道具に日本で作られている輸入している物が多いことです。私は最初、小関先生が日本人だから日本の道具を使っているのだと思っていました。しかし佐藤先生が小関先生に聞いたことへの答えでは、アメリカの専門学校で日本の物が良いと習われたそうなので、とても驚きました。

誰かが、「日本では物を大切に作るから、材料や道具が多いのか。」と言っていました。確かにそうだなと思います。なぜなら昔、江戸時代の人々は、物をとても大切にしていたと聞いたことがあるし、だからこそ優れた材料や道具が生まれたと思うからです。物を大切にしたいとただ思うだけでは、「じんしょうふ」のような難しい作り方ののりは生まれていないと思います。

私が見学をして、沢山の時間をかけて美術品が成り立っていることを知りました。一つ一つの作品に合った温度や湿度、そして光までも調節するのは、とても大変な仕事だと思います。美術品のことはよく分からないけれど、作品は宝なのだということが何となく分かったように感じました。

### 小関先生へのメッセージ・・・

中1 A オブライエン恵里花（土本学級）

美術館を案内してくれてありがとうございます。いろんなことを学びました。この見学のおかげで昔の写真に興味をもつようになりました。これからもみんなに写真のことをもっと教えて、写真に興味をもたせてください。

中1 B 副田海斗（佐藤学級）

作品をどのようにして修理するかということ丁寧な説明をいただき、本当にありがとうございました。ラボに施してある工夫や、置いてある機械に、僕はとても興味を持ちました。特に天井が開いたのには、とても驚きました。又、ラボでは薬品を使うため、美術館とは別の空気を使い、美術館にいる人に害を与えない工夫もすごいと思いました。お忙しい中、見学させて頂き、心から感謝しています。

私自身、小関先生のラボ見学は、今回で3回目となりました。その都度、趣向を凝らした受け入れをしてくださいました。生徒達からの多種多様な疑問や質問に丁寧にお応えいただきました。小関先生、スタッフの皆さんに厚く感謝申し上げます。（校長）

## ◆パトロール当番予定表12月10日◆

～よろしくお願いします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小3	24	保阪明奈
2		13	ウィリングヘム誠志
3		14	小鏑翔太
4		15	鈴木健将
5		16	安田鴻希
6		18	藤本航大
7		19	岡崎友里子
★PM1リーダー	小2	20	橋本希楽
2		21	中村壮一郎
3	幼	1	安藤優祐
4		2	岡本藍人
5		3	片岡伸太郎
6		5	竹内壮斗
7		6	タレント羅瑠夫
転入			竹本健星（小1B）転入を歓迎します。